

令和7年6月8日(日)



江津市地場産業振興センターにおいて、120周年記念式典を開催。和木コミセンと違って大きな舞台での群読発表に、高角小5年生は少し緊張しながらも大きな声で頑張りました。



野田実行委員長の挨拶



中村江津市長の挨拶



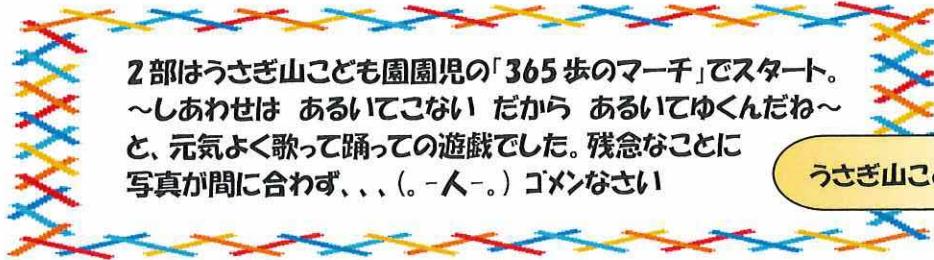
島根大学 諸岡了介教授の講演

和木町でロシア祭りが続いてきたことについて、「乗組員の救助は、国の問題ではなく、敵味方関係のない人命救助だということを地域の人たちが共有していたからだ」  
「語り継げたことで、人と人との輪を大切にする精神がロシアの人々にも伝わった」  
最後に「国際交流が以前のように戻り、ロシア祭りがさらに盛り上がる時期が来ると期待しています」と、諸岡教授は話されました。

演奏曲の中で吹奏楽用に編曲された、イ号救援に対する和木住民の気持ち歌った「愛とこしえに」が初披露されました。智翠館吹奏楽部の素晴らしい演奏に来場者も感激の様子でした。



# イベントと出店



うさぎ山こども園遊戯



① ロシア祭り  
イ号乗組員救援 120周年記念事業  
1部式典は、地場産業振興センター9時30分より、  
2部は、和木コミセンで12時より開催されました。  
梅雨入りをして気になる天気でしたが雨は降らず暑く  
もなく、子どもから高齢者まで多くの方が来場ください  
り盛会に終わりました。若い人たちへ継承し伝承し、  
未来へと繋げ広げる今年のロシア祭りでした。